

キャンプ安全の日 7月18日

新型コロナウイルス感染症は、今年の夏のアウトドア活動にも影響を与えています。「屋外」ということで感染リスクが低いと感じる方もいるかもしれませんが、油断は禁物。ケガや事故などの安全対策に加え、感染症対策もしっかり実行し、医療機関への負担を増やさぬよう気をつけたいものですね。

日本キャンプ協会では、毎年7月の第3日曜日、今年は7月18日を「キャンプ安全の日」と定めています。安全に関するさまざまな情報を発信し、安全で楽しいアウトドア活動につなげていきたいと考えています。力を合わせて「キャンプの安全」をつくり上げていきましょう。



EPISODE 1

夏になると楽しいはずの水遊び中に事故が発生、というニュースをよく耳にします。水難事故の概況やその対策を知り、事故防止のポイントにしましょう。

公益財団法人 河川財団では、水難事故防止に関するデータ「no more 水難事故 2021」を作成しています。同財団 HP 内に紹介されている動画「リバーアドベンチャー～川に魅せられしものたち～」も RPG 感覚で楽しみながら川について学ぶことができる教材です。

「no more 水難事故 2021」：<https://www.kasen.or.jp/mizube/tabid324.html>



EPISODE 2



最近よく耳にするようになったキャンプ中の事故のひとつ、一酸化炭素中毒。「まさかこんな状況で起こるとは...」と、思わず口にしたくなる意外な状況で事故が発生しています。皆さんの中にも、同じような状況でバーベキューをした人がいるのではないのでしょうか。

公益社団法人日本小児科学会「こどもの生活環境改善委員会」による報告がありますので、是非、ご覧ください。

「2ルームテント内での一酸化炭素による中毒」：<https://www.jpeds.or.jp/uploads/files/injuryalert/0083.pdf>

EPISODE 3

キャンプでの新型コロナウイルス対策チェックリスト（主催者向け/参加者向け）を作成しました。

<https://camping.or.jp/wp/wp-content/uploads/2021/07/Camp-infection-prevention-checklist.pdf>

キャンプでは感染リスクが低減する場面と、そうでない場面が混在しています。感染経路である「飛沫」「接触」「エアロゾル」を封じ込めるために「マスク」「手洗い」「換気」を適切な場面で、適切なタイミングで行う必要があります。このチェックリストはあくまでも一例です。各団体で項目を検討して実情に合ったチェックリストを作成し、それを参加者、スタッフが誠実に実行するという意識が大変重要です。

変異株の出現により、新型コロナウイルスの感染力は強まっています。我々の感染対策もレベルを上げていかなければなりません。

感染を防ぐために、また感染が生じた際の拡大を最小限に抑えるために最善を尽くしていきましょう。